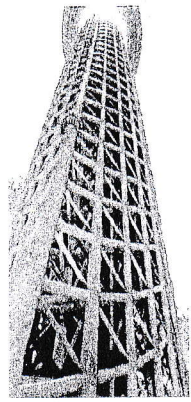


押上西和町会会報



新春号

令和3年1月20日発行第38号
発行 押上西和町会
編集人 角田文善

年頭のゴッ換拶

町会長 宮本友雄

皆様にはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。年頭にあたり、皆様のご多幸、ご健勝を心よりご祈念申し上げます。

一年に亘り、私達の身体、生命そして日々の暮らしを脅かし続け、経済を疲弊させ、社会活動を低迷させている新型コロナウイルスの感染拡大には一向に歯止めが架かりません。昨年末の感染者激増を踏まえ、年明け早々一都三県に再び緊急事態宣言が発令されるなど感染第三波の脅威の甚大さに触れ、このウィルスの恐ろしさを改めて痛感しております。

昨年は、コロナ禍がもたらす様々な制約が町会活動にも大きく影響し、懸案事項に対する対策が十分に取れなかつたばかりか、定期総会・恒例行事・各事業部の活動等の大半が中止・縮小を余儀なくされ、不本意な一年となりました。

安心で有効なワクチンと治療薬が普及し、対コロナの医療体制が十分に整うまで、感染リスクの高い町会行事に対してはまだまだ自粛・自重の姿勢が求められます。今後の町会活動に於いても皆様のご期待にそえないことが多々有ると思いますが、何卒ご理解、ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

医療専門家が繰り返し提唱する「感染しない・させない為の基本的予防対策」を日々励行することは、自分自身と大切な家族を守るに留まらず、逼迫した現場で懸命にウィルスと戦っている医療従事者が担う過酷な負担を少しでも軽減させることにも繋がる私達の責務だと思えます。

行政の有効な施策と、私達が今出来る努力の積み重ねにより、一日も早く平穏な日常を取り戻し、この夏五十六年振りに東京に点るオリンピック・パラリンピックの聖火が、やがてこのパンデミックの終焉に繋がる希望の灯りとなります様願っております。

新春三句

横尾輝子

土なぐ吹き七草のせて粥あつくら

空見上げ淡雪ひらり風呂帰り

晴れわたる高きはしこの出初式

創作・写真・町情報などをお寄せください。今号はご覧のとおり町会長をはじめとして各事業部長の寄稿で紙面を構成しました。次号発行は4月を予定しております。お問い合わせなどがありましたら、編集人までご連絡ください。

コロナ禍に思うこと

婦人部長 西尾淳子

婦人部の皆様お元気ですか。コロナ感染防止の為にすべての行事が中止になり皆様にお会いする機会が全くなくなってしまいました。

そんな時久しぶりにお会いした部員さんからの一言「菜の花摘みに行けるかしら」と。この言葉で思い出したのは二月に実施した『房総菜の花摘み』のことでした。この時、正にコロナの感染拡大が報道されている最中でした。これを境に婦人部の楽しい集いも中止に。

『新型コロナウイルス』という未知のウィルスに打ち勝って一日も速く元の日常生活に戻り、『溢れる笑顔』でお会いできますように。

令和2年交通部活動報告

交通部長 吉川和男

予定していましたが全国交通安全運動4月6日～4月15日は新型コロナウイルス感染拡大のため中止になりました。

令和2年6月29日 16:00～曳舟文化センター

2階 令和元年度向島交通安全協会定期総会、秋の全国交通安全運動9月21日～9月30日も中止になりました。